

ニュースヘッドライン

A (朝日)、M (毎日)、Y (読売)、N (日経)、サ (産経)、H (赤旗) の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

8.28 被災状況

死 者 1万5,741人 (前日比6人増)

行方不明 4,487人 (前日比90人増)

避難者 8万3,099人 (8.11現在)

☆増える国保滞納差押えと非正規社員数

→8.29 A「国保滞納差押え5倍—37市区4年で、強制徴収が加速」「低所得払えぬ国保料—差押え急増、自治体も苦悩」「震災訓練—変—津波の教訓、漂流者救助で米軍参加—被災地中止続々、復興を優先・今が有事町民避難中—原発立地10道県、国の見直し待ち」

→8.29 M「ニュース・争論—検証・イラク戦争支持—断罪でなく政策のために、細谷雄一氏慶応大教授—政策決定者の論理見えぬ、柳沢協二氏・元内閣官房副長官」

→8.29 「神助さん引退—芸能界『黒い交際』根深く—警察、暴力団排除を加速」

→8.29 T「除染、英知結集—福島救え！大学チームの挑戦、バクテリア・鉱物・貝殻・総動員」「放射線測定、都立産技研—依頼5倍、被災地とも連携」

→8.29 H「原発事故の地図お粗末—『震災対応』名ばかり情報収集衛星、近く4機目打ち上げ—機密優先のスパイ衛星」

→8.29 各紙社説、論説

A「きょう新代表—政治を前へ進める人を」／「円高と日本—構造改革の糧としたい」

M「民主代表選、どうする年金・医療—これも『待ったなし』だ」／「石綿訴訟判決—国勝訴でも責任は重い」

Y「代表選投票へ—民自公合意を白紙に戻すな、『首相の器』であるか見極めよ」

N「エネルギーを考える—『責めの省エネ』を競争力強化に生かせ」／本社コラムニスト・岡部直明「核心—『トリプルA』なき世界で、新首相が担う共同責任」

T 「民主代表選—『一票』は国民の立場で」／「福島放射能除染—国は住民帰郷へ全力を」
H 「無料塾—『学び』と『成長』の場広げよう」

- 8.29 非正規社員 38.7%の最高更新—厚労省発表『就業形態の多様化に関する総合実体調査』(2010.10)による—従業員5人以上の1万6,886事業所とその作業員5万1,152人を対象に実施(有効回答率—事務所61.7%、従業員64.7%)／非正規社員の内訳—パートタイム22.9%(全労働者中)、契約社員3.5%、嘱託社員24%(8.30T)

☆民主代表選—1・2位決選投票の末に

- 8.29 民主代表選—野田佳彦氏新代表に

<第1回目投票> (投票数395—棄権3)

海江田万理	143
野田 佳彦	102
前原 誠司	74
鹿野 道彦	52
馬淵 澄夫	24

<決選投票> (有効投票392、棄権3、無効3)

野田 佳彦	215
海江田万理	177

→8.29A夕「野田氏勝利首相へ、民主代表選—決選投票、海江田氏を破る—小沢氏批判票集め逆転」／M夕『『国民不在』『身内の争い』—不信どう払拭、民主新代表に厳しい目」

→8.30A「野田首相きょう指名、挙党体制へ幹事長焦点—民主代表選、決選で海江田氏を逆転」「小沢支配を警戒結集—野田氏へ2～4位票」「復興増税、実現へ意欲—野田氏、問われる成長戦略—自公、復興協力は維持、小沢氏の影響力様子見」／M「小沢元代表戦略破綻、野田首相きょう指名—主流派分断失敗、海江田氏『ぶれ』疑念招く」「野田代表政策は—原発再稼働前向き、復興増税に積極的」

8.29 被災状況

死 者 1万5,745人 (前日比4人増)

行方不明 4,467人 (前日比10人減)

避 難 者 8万3,099人 (8.11現在)

- 福島高濃度汚染圏、34地点 (文科省検討会で報告)—6.14時点でチェルノブイリ事故での強制移住基準 (1㎡当り放射線セシウム137が148万ベクレル) を超える濃度地区が6市町村34地点 (8.30Y)

→8.30A 「土壌、セシウム最高 3000 万ベクレル—福島第一、100 キロ圏初の地図—6 月、北西方向高汚染」

●福島第 1 原発の放射性物質拡散試算—15 都県に拡散（国立環境研究所のシミュレーションで判明）—3.11～8.29 までの計算による／ヨウ素 131 の 13%、セシウム 137 の 22%が降下—セシウム 137 は静岡、長野、新潟などに高い降下量（8.29A夕）

●北電、プルマーサル計画を 1 時凍結—泊原発 3 号機を巡る「やらせメール」問題を受け—近く『やらせメール』問題の調査委員会を設置（8.30A）

●液状化—関東 7 都県、96 市町村で発生—国土交通省関東地方整備局と地盤工学会の共同調査で判明（8.30T）

→8.30 Y 「カダフィ政権崩壊 1 週間—市民生活緩か回復、原油輸出は来月再開へ」「財界、成長戦略に期待—円高『中小企業は危機的』」「T P P 迫られる決断、野田新代表—経済再生へ不可欠、原発再稼働『国が責任』—株価、『増税』が重し—長期金利は低下」「霞が関歓迎—財界と関係強化必要

→8.30 T 「新代表に野田氏、増税ラッシュ？—原発再稼働の意欲・消費税も所得税も・円高対策は期待薄」「消去法候補に誤算—泣きの海江田氏に小沢氏泣く、『3 党合意白紙』発言、大きな減点」「脱原発議論素通り、民主・野田代表—再稼働危ぶむ声、市民ら『新エネルギー推進を』—被災地は冷ややか、『増税不安』『故郷帰れぬ』」

→8.30 各紙社説、論説

A 「野田新代表—先送りの政治から決別を」／米ピニオン編集グループ・太田啓之「記者有論—年金破綻論、『幻想』捨て現実的改革を」／政治エディター・渡辺勉「国民と向き合って」

M 「野田民主新代表—『もう後はない』覚悟を」／政治部長・古賀攻「政治に熟成の力を」

Y 「野田民主新代表—世代交代で再生への歯車回せ、信頼構築して大連立の実現を」／森戸幸次氏「論点—アラブ民主革命、中東和平重大な岐路に」

N 「野田新代表は与野党協調で政策実現を」／政治部長・池内新太郎「『前に進む政治』取り戻せ」

T 「政策実現、背水の陣で—野田氏代表、首相へ」／政治部長・高田昌也「政治が消え去らぬように」

サ 「野田新代表—やはり早期解散こそ筋だ、信を失った民主党は出直せ」／政治部長・五嶋清「民主の自壊が始まった」

H 「裁判権『密約』—ごまかさずきっぱり破棄せよ」

8.30 日債銀粉飾決算事件差戻し審判決—東京高裁（飯田喜信裁判長）、元会長ら 3 被告に逆転無罪判決—「粉飾決算」否定（8.30A夕）

8.30 失業率 4.7%と悪化—総務省発表の6月の完全失業率、2ヵ月連続悪化／被災3県の失業者数 (8.21現在) 15万3,173人 (8.30A夕)

8.30 菅内閣、総辞職—在任期間 449日 (8.30Y夕)

☆「脱原発」から『脱原発ノーサイド』の野田新首相

8.30 野田佳彦氏、第95代首相に指名—衆院 308票、参院 110票、いずれも1位 (8.31各紙朝刊)

→8.31M「民主人事、幹事長に興石氏—前原氏、政調会長—国対委員長平野氏」「党内融和を最優先、民主党役員人事—野田氏、守り固め—小沢グループは『当然』—『興石幹事長』、自民に強硬論」

→8.31N『小鳩』配慮、政権に火種—民主幹事長に『小沢系』野党対策に不安—政調会長と閣僚分離—政策、党意向に重みも」

→8.31T「脱原発まで『ノーサイド』?—『原子カムラ』巻き返しの動き」「新首相発言、募る警戒心—『再稼働へ努力』、最善の策」・輸出は『国際貢献』—『安定感と行動力』財界は絶賛」

→8.31H『民自公翼賛体制』に立ち向かう—志位委員長が表明」「政権交代2年で3人目—野田新首相の素顔、国民『裏切り』の言動—大連立、国民より自公優先／消費税、繰り返し増税明言／外交・安保、『沖縄新基地』推進／原発、『再稼働』ありき／議員定数、『衆院比例定数全廃』が持論」

8.30 被災状況

死者 1万5,754人 (前日比9人増)

行方不明 4,460人 (前日比7人減)

避難者 8万3,099人 (8.11内閣府)

●東電、賠償基準案発表—9.12日途に受付開始、10.初旬の支払いを目指す (8.31各紙朝刊)

→8.31A「原発賠償やっとな本格化—東京、9月12日から受付—個人、領収書が原則必要—会社、難しい風評額—同意できぬ場合、国の仲裁機関・裁判へ」「汚染牛全面賠償に難色—東電、国にも責任と主張」／M「東電賠償基準—避難者『先見えない』—『自主は対象外』、独自請求も—畜産農家『検討中』に怒り」

●政府、電力使用制限会を前倒し解除発表—東京電力と東北電力の大口需要家に発動した制限令 (8.31Y)

●「やらせメール」中間報告—東北電でも「動員疑い」(女川原発説明会で)判明 (8.31M)

→8.31 T 「原発シンポーやらせ疑惑、新たに5件—調査委中間報告、認定の3件『不適切』
『反対派どう抑えるか』『カギは動員確保』—やらせ問題、保安院要請メモ生々しく」

→8.31 各紙社説、論説

A 「野田新体制—真の『挙党』をめざせ」／「あす防災の日—3.11大都市の教訓は」／編集委員・星浩「危機の民主党〇上—再生か没落か瀬戸際」／福島総局・大月規義「記者有論—野田新首相に告ぐ、もう福島に押しつけるな」

M 「野田新首相—政治の歯車着実に回せ」

Y 「輿石民主幹事長—野田首相の政策実現へ動け」／「日債銀逆転無罪—旧経営陣行政の責任は残る」

N 「成長と財政再建を背負った新首相」

T 「輿石幹事長起用—これで政治が進むなら」／「不適切テロップ—放送の責任を自覚せよ」

サ 「野田新首相—輿石幹事長に唾然とする」／「朝鮮学校無償—どさ紛れを撤回せよ」

H 「野田首相指名—国民の批判に応える姿勢ない」

8.31 被災状況

死者 1万5,756人（前日比2人増）

行方不明 4,460人（前日比増減なし）

避難者 8万2,945人（8.11より55人減）（8.25現在）

- 北電、「やらせメール」動員認める—08.8経産省主催シンポで動員450人に電子メール送り、参加動員（発表）（9.1M）

→9.1 A 「避難所閉鎖、明日が心配—食事・仕事『どうすれば』—岩手ほぼ解消、福島・ビッグパレットも—宮城、なお133カ所」／M 「大震災半年—『海の近く危ない』元の場所での学校再開困難、財源なく自治体悲鳴—福島『放射線を警戒』除染不可欠—新築移転、国庫補助の対象外」／Y 「生産V字型回復に暗雲、9月2.4%減産—超円高・世界経済減速」

→9.1 T 「やまぬ『福島』差別—満室で宿泊無理／一緒に仕事できない／公園で遊ばないで—公的機関へ相談今も、救済手続きためらう県民も」

→9.1 各紙社説、論説

A 「野田新首相へ—外交の建て直しを急げ」／「経済活性化へ具体策を」／編集委員・根本清樹「危機の民主党〇中—政治改革も岐路に立つ」／論説副主幹・柴田直治「社説余滴—特捜部はもういない」

M 「防災の日—想定に縛られぬ備えを」／「原発損害賠償—迅速柔軟に救済を図れ」

Y 「選挙制度改革—『1票の格差』を是正する時だ」／「防災の日—『想定外』の被害をなくそう」

N 「地震の続発に備え共助の防災を強めよ」／「日債銀『無罪』でも消えぬ責任」

T 「『想定外』と決別する—『防災の日』に考える」

H 「防災の日—『想定外』に備えることこそ」

☆三党合意順守確約と財界詣で一組閣に先立つ野田首相

9. 1 野田新首相、自公両首相と会談—「3党合意」の順守明言と三党協議機関設置提案—①東日本大震災の復旧・復興、②税と社会保障改革、③経済対策の合意を目指す (9. 2A)

→9. 1 経団連を訪問、米倉弘昌会長と会談—野田首相「間断なく経済対策を実行していきたいので、お知恵を拝借したい」「政府の会議を作り直すので、出席してもらえますか」／米倉会長、全面的にサポートする姿勢を強調 (9. 2M、Y)

→9. 2H 「経団連会長から接待—野田新首相、財務相当時の昨年 10 月—税制論議のさなか」

9. 1 被災状況

死 者 1 万 5, 757 人 (前日比 1 人増)

行方不明 4, 382 人 (前日比 78 人減)

避難者 8 万 2, 945 人 (8. 25 現在)

●福島第 1 原発周辺の放射線量発表 (国の原子力被災者支援センター)—警戒区域と計画的避難区域の約 2, 700 地点(地上 1 m 計算)—第 1 原発から約 1 キロの大熊町夫沢で毎時 139MS、北西約 22 キロの浪江町昼曾根で毎時 41. 3MS (9. 2A)

→9. 2Y 「最高線量避難基準 36 倍、政府広報調査—福島立ち入り制限域、毎時 139 マイクロ・シーベルト」

→9. 2N 「避難区域の詳細汚染地図—文科省公表、最大は毎時 368 マイクロ・シーベルト」

→9. 2H 「やらせ効果くっきり、北電の国主催シンポ動員—『プルサーマル必要』会場は 64%、住民の認識と隔たり」

→9. 2M 「漁港に復興格差、再建の行方険しく—漁協、漁師の体力次第」

→9. 2Y 「製造業 46% 『海外移転』 経産省調査—『70 円台』、半年以上続くと」

→9. 2Mタ 「ホテル経営再び苦境—被災者の仮設移転進み、福島」「被災地の授業遅れ、全国 30 大学が援助—講義映像など無償提供 『e ラーニング』 で自宅受講も、教員派遣も検討」

→9. 2 各紙社説、論説

A 「自民党へ—政策で勝負するときだ」／「避難長期化—生活再建の選択肢示せ」／ヨーロッパ総局・伊東和貴「記者有論—ノルウェー連続テロ、結束し多文化共生へ再び」

M 「党首会談—まず与野党で復興を」／「電力制限解除—経験を次につなげよう」

Y 「民自公党首会談—課題解決へ協議機関の設置を」／「電力制限解除—それでも原発再稼

働は必要だ」

N 「T P P 参加へ野田新首相に時間はない」 / 「円高でも重い資源調達負担」

T 「『脱原発』を堅持しよう—日本の未来のエネルギー」

H 「シリア人権弾圧—市民への武力行使を停止せよ」

☆野田新内閣発足—「すり寄り」政権の実態

9. 2 野田内閣発足

玄葉光一郎（外務）、安住淳（財務）、平岡秀夫（法務）、鹿野道彦（農林）、中川正春（文科）、小宮山洋子（厚労）、一川保夫（防衛）、鉢呂吉雄（経産）、前田武志（国交）、細野豪志（原発、環境）、山岡賢次（国家公安）、古川元久（国家戦略）、連舫（行政刷新）、平野達男（復興防災）、自見庄三郎（郵政金融）、藤村修（官房）、計 17 閣僚

→9. 3A 「党内融和配慮—「復興と原発最優先、野田内閣発足」「野田流裏に財務省、増税実現へ人事画策—首相、組織力を信頼—入閣外して融和演出、『脱小沢』岡田・仙谷・枝野氏」「新内閣難題の山—増税、まず党反対派の関門—原発、再稼働の方針を明言—経済外交、T P P 参加判断急ぐ—震災復興 3 次補正に野党の壁—安保、外交、普天間の打開が急務」『内向き内閣』野党は批判」

→9. 3M 「復興、原発収束を最優先—野田内閣が発足、増税『現実主義で』「政策難題どう解決—融和に配慮調整型」「野田内閣—自民、解散要求変わらず、公明は協力姿勢に傾く」

→9. 3Y 「野田内閣発足—増税、時期は柔軟に—原発再稼働を推進、早期の衆院解散否定」「原発対応が最優先—内政、外交手腕未知数」「岡田氏の固辞誤算」

9. 2 被災状況

死者 1 万 5, 757 人（前日比増減なし）

行方不明 4, 313 人（前日比 69 人減）

避難者 8 万 2, 945 人（8. 25 現在）

→9. 3N 「復興・経済再生に総力、野田内閣発足—危機回避へ財政再建—首相会見、消費増税で準備法案」「誤算超え融和演出、参院枠に興石色も—入閣ゼロ、鳩山グループに不満」「復興増税まず関門—与党内調整が焦点、社会保障・円高対策も急務」「返済猶予後の倒産増加、支援策の効果薄れる—1~8 月、昨年 1 年間の 1. 7 倍、民間調査—震災関連倒産 300 件超える」

→9. 3T 「野田内閣が発足—原発再稼働を最優先」「増税に大きくかじ—『財政規律派』を登用、消費税・復興増税—中小企業対策を重視、円高・T P P」「脱原発加速望み薄、閣僚から採る重要政策・野田内閣—『再生エネ』に期待、原発・エネルギー—被災地重視の布陣、復興」「原発『地元無視だ』首相、再稼働前向き—福島反省ない—20 キロ圏 70 万人、東海村長憤り」

→9.3サ「野田首相も外国人献金、民団関係者らから30万円」「早期の解散否定、野田内閣発足—一体改革来春までに法案／靖国公式参拝せず—基本政策での不一致懸念」

→9.3H「どこを見ているのか野田新内閣—財界と、TPP・消費増税で直結—自公と、『翼賛体制』づくりに躍起—米国と、『同盟深化』へまい進」

→9.3 各紙社説、論説

A「野田新内閣スタート—『合意の政治』へ進化を」／Globe編集チーム・青山直篤「記者有論—大切な眠り、皆が熟睡できる社会を」

M「野田内閣スタート—政治の総力を結集せよ」

Y「野田内閣発足—国難乗り越える処方箋を示せ、『鳩菅政治』からの決別が急務だ」

N「新内閣は丸丸となって課題に取り組み」／経済金融部長「衆知集め空転に終止符」

T「ドジョウは働いてこそ—野田内閣スタート」

サ「野田内閣発足—これで前に進めるのか、国家再生より融和優先では」

H「野田政権発足—『挙党』『翼賛』で国民がない」

9.3~4 台風12号、紀伊半島中心に猛威

→9.5A「台風24人死亡54人不明—紀伊半島、土砂崩れ・氾濫—湿った空気近畿に集中」「濁流猛威、堤防整備着手まだ—紀伊半島、有数の多雨地帯」「突然土砂『あかん』—豪雨、救助の行く手阻む」

9.3 被災状況

死者 1万5,760人（宮城9,438、岩手4,653、福島1,603—前日比3人増）

行方不明 4,282人（宮城2,285、岩手1,748、福島245—前日比31人減）

避難者 8万2,945人（8.25現在）

→9.3A夕「除染首都圏動く、校庭の土入れ替え／側溝を清掃—自治体、不安の声受け—除染目標設定、住民も参加を」／M夕「悪質震災商法ご用心—『老人ホーム被災者殺到』『風力発電未公開株—全国で相談相次ぐ』

☆野田内閣の支持率—ご祝儀相場にすぎないか

→9.4 世論調査

A「野田内閣支持53%—政党支持、民主31%、自民17%」「民主支持V字型回復—挙党体制奏功に安堵、民主—『ご祝儀相場』と静観、野党—伸びぬ自民危機感—自民支持層も野田内閣好感」

M「野田内閣支持56%—元代表処分、見直し不要75%」「野田内閣、自民支持層も期待—保守色、拒否感薄く」

Y「野田内閣支持65%—融和人事『評価』71%—歴代5位、発足時」「政策実行へ世論追い風

—内閣支持 65%、党内融和の維持カギ—自民支持層も 61%支持

N 「野田内閣支持 67%—民主、自民を逆転—復興増税『賛成』 63%」「与野党協力『幅広く』 52%、政策の着実な実行求める—『小沢元代表と距離を』 65%支持」

T (共同通信社) 「野田内閣支持 62%—民主 27%、自民上回る—混乱收拾国民に期待感」「内閣支持率『好スタート』首相、主導権確保図る—野党は失態迫及手ぐすね」

→9.4A 「核燃サイクル停滞—プルサーマル稼働に逆風—燃料確保も難題」「いつか帰るため—思うほど減らぬ線量『じれったい』、浪江町ルポ—除染手つかず」

→9.4N 「政官民で『国家戦略会議』、首相方針—経済財政司令塔に、日銀・経団連幹部ら参加」「『停滞3ヵ月』政策日程過密—国際会議、円高抑止、週末にG7—税財政、消費増税案、年末にも」

→9.4H 「民主的学者排除リスト—日本政府、原子力推進の『障害』と—54年『極秘』報告書、日米が共同で画策」

→9.4 各紙社説、論説

A 「電力制限解除—節電の夏を次に生かせ」／「2020年夏—五輪をまた呼ぶのなら」／ニューヨーク支局長・山中秀広「ザ・コラム—同時テロ10年、ブッシュ氏の『エリートパニック』」

M 「野田政権の課題—『減原発』の道筋着実に」／「借金頼みからの脱却を」

Y 「財政健全化—消費税率引上げへの道筋を、先送りは国家の信頼揺るがす」

N 「事故収束と除染を強力な体制で進めよ」／「資金だけではリビア安定せず」／論説委員長・芹川洋一「野田政権①—日本再生今度こそ—治める力取り戻そう」

T 「漂流する『樽舟政治』—週のはじめに考える」

サ 「外国人献金—首相は説明責任を果たせ」／「外交・安全保障—防衛相発言では国守れぬ」

H 「『ミスター増税』—ますます広がる国民との矛盾」